



# 高松琴平電気鉄道 琴平線に新駅「綾川駅」が開業

高松琴平電気鉄道（ことでん）は2013年12月15日、琴平線の陶一滝宮駅間、綾川町萱原に新駅「綾川駅」を開業した。陶駅から西へ約1.5km、滝宮駅から東へ約900mに位置する綾川駅周辺には、大型商業施設をはじめ、役場や図書館などの公共施設、福祉医療施設が集積している。綾川町はこれらの要素を活かし、「駅を中心としたまちづくり」を進めていく方針だ。

## ●新駅中心にまちづくり構想を策定

県や沿線自治体、ことでんなどで組織される「ことでん活性化協議会」は、ことでんのサービス向上だけでなく、他の公共交通やまちづくりとの連携を図っていくための具体的な取り組みを検討し、2011年3月、「ことでん沿線地域公共交通総合連携計画」をまとめた。

この計画において重要施策として位置付けられたのが「陶一滝宮間への新駅整備計画」で、綾川町はこれを受け、2012年3月に「綾川町新駅設置に伴う新まちづくり構想」を策定している。

綾川町は、香川県のほぼ中央に位置する総面積109.67平方km、人口約2万5000人の町。綾川駅が整備された町の北西地区は、国道32号線沿いに大型商業施設や公共施設などが集積、人口減少や少子高齢化が進む町の中でも宅地開発の進展で人口

が増加傾向を見せるエリアとなっている。新まちづくり構想では、こうした利便性の高い地区の特性を活かしながら、新駅における交通結節機能を高め、駅を中心とした持続可能なまちづくりを目指していく方針だ。

綾川駅の駅本体はことでん活性化協議会、駅前広場や進入道路などは綾川町が整備した。駅のホームは全長85mで、駅前広場にはバスやタクシー、一般車両の乗降スペースを整備。駅近くには、パーク・アンド・ライド駐車場も確保している。

また、ことでんは綾川駅の開業に合わせてダイヤ改正を実施。始発・終電を拡充するとともに、平日は通勤・通学時間帯に15分間隔で運行し、休日は綾川駅周辺の大型商業施設への買い物客に合わせた午前・午後の時間帯を15分間隔で運行するなど、運行本数を増やしている。

一方、綾川町は綾川駅とJR坂出駅を結ぶ路線バスの1年間の実験運行を開始し、JR坂出駅から綾川駅を経由して高松空港を結ぶリムジンバスの試験運行もスタートさせた。

香川県の中西部地域における交通結節点としての役割が期待される綾川駅は、地域鉄道の利便性向上施策におけるリーディング・ケースとして全国からも注目を集めている。



1 2013年12月15日8時42分、滝宮駅を発車する「綾川駅開業記念臨時列車」。式典に出席する関係者を乗せて新駅に向かった。2 ことでん「綾川駅」は地域の交通結節点としての役割が期待されている。3 ことでんの新駅整備は、琴平線空港通り駅（高松市寺井町）以来、約7年半ぶりとなる。ゆるキャラたちもお祝いに駆け付け、関係者らでテープカットを行った。